

【米ドル】 米早期利上げ警戒感が下値を支えるも、雇用統計待ち

	直近1週間のレンジ	今後1週間の予想レンジ	今後3ヶ月の予想レンジ
ドル/円	100.07-101.84円	100.00-103.00円	95.00-110.00円

米ドル/円相場は、1ドル=100~102円水準でやや底固い展開になっている。日米金融政策会合後の100円割れを回避する中、総じて底固い展開になっている。ただ、改めて円売り・ドル買いを進めるようなテーマ設定もできず、手掛かり難から大きな値動きには発展していない。

イエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長は9月28日の議会証言において、多くの当局者が「重大なリスク」が浮上してこなければ早期利上げが可能との認識を示した。ただその一方では、「決まったタイムスケジュール」が存在しないとの認識も示したことで、本格的に早期利上げに対する警戒感を高めていくような動きは限定されている。目先は10月7日に9月米雇用統計の発表を控えており、そこで改めて早期利上げ観測を高めていくことができるか否かが、ドル/円相場の上昇余地を決定付ける見通し。

なお米国の早期利上げ観測がくすぶり続ける中、主にドルサイドの要因からドル/円相場の下値不安は限定される見通し。一方で、12月の利上げを現段階から本格的に織り込んでいくことも難しく、急伸リスクも限定されよう。ドイツの経営不安を背景としたリスクオフ環境でも100円割れを回避したことから一定の底固さが認められるが、105円を上抜くような円安・ドル高再開には、FRBの早期利上げ観測を高めていくことが必要不可欠である。9月米雇用統計の発表をきっかけに、改めて早期利上げへの警戒感を高めていくことができるかに注目したい。100円の節目水準では物色妙味があるが、積極的に上値を買い進むニーズは乏しい。

テクニカルでは、一目均衡表の雲（101.93~103.28円）の下限を打診する展開に。雲ブレイクだと105円の節目ブレイクを打診。一方、雲での抵抗を受けると改めて100円の節目が打診される。サイコジカルは、前週の5勝7敗から7勝5敗に。14日RSIは49.23。

注目イベント

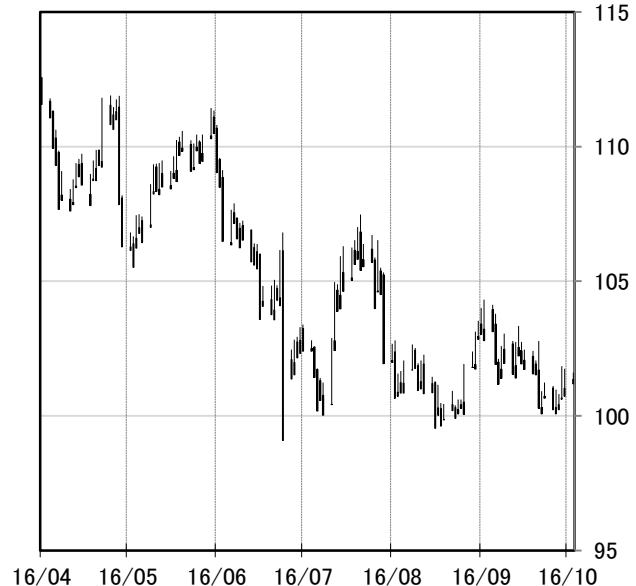
【米国】

- 10/03 (月) 8月建設支出
- 10/03 (月) 9月ISM製造業指数
- 10/05 (水) 9月ADP雇用統計
- 10/05 (水) 8月貿易収支
- 10/05 (水) 9月ISM非製造業指数
- 10/06 (木) 新規失業保険申請件数
- 10/07 (金) 9月雇用統計
- 10/07 (金) 8月卸売在庫

【日本】

- 10/03 (月) 7~9月期日銀短観
- 10/07 (金) 8月勤労統計
- 10/07 (金) 8月景気動向指数

<<ドル/円 日足 >>



注意事項

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。

本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。

本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。

本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

発行会社

- 【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)
【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1 (古川ビル4F)
【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>
【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

【執筆者プロフィール】

マーケットエッジ株式会社 代表取締役 小菅 努 (こすげ・つとむ)
1976年千葉県生まれ。筑波大学卒。商品先物取引会社の営業本部を経て、同時テロ事件直後のニューヨーク事務所にてコモディティ・金融市場の分析を学ぶ。帰国後は調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社代表に就任。

E-mail: kosuge@marketedge.co.jp

Twitter @kosuge_tsutomu